

★★★ 災害から身を守る対策を考えよう ★★★

令和元年10月の超大型台風19号により、全国各地に甚大な被害が発生しました。
小田原市でも、市内86ヶ所に開設した避難場所に、7,118名が避難しました。
また、今年7月にも、全国各地で記録的な大雨による堤防決壊の災害が発生しています。

これからの、「地震時」「風水害時」の避難については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、
3密を避けるため、分散避難が必要と言われています。
自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難場所に行く必要はありません。

- ◎避難行動には、日頃より、となり近所との相互助け合いが大切です。(避難行動要支援者)
- ◎風水害時は適切な情報入手し、「避難場所に行く」「自宅の高い部屋に行く」など、命を守る行動をとってください。・・・避難する場合は、水・食料などを持参してください。
- ◎地震災害・風水害災害に備えて、日頃から食糧の備蓄をお願いします。(最低3日程度)



小田原市の、「酒匂川 水系の洪水ハザードマップ」を引用し、紹介しますので、
平常時より、ご家族で確認してしてください。

酒匂川・仙了川・要定川 小田原市 洪水ハザードマップ

わが家の危険度を知ろう

地図面を見て、自分や大切な人たちの居場所に予測される浸水深を確認しましょう。
そして状況に応じた避難を考えましょう。

河川洪水を知る	浸水深
<p>新しいハザードマップが届いたのね</p> <p>うちはここかな?</p> <p>避難場所はどこがいいかな～?</p> <p>うちはなに色かな?</p>	5.0m～ 2階の屋根以上が浸水
	3.0m～5.0m 2階の屋根まで浸水
	0.5m～3.0m 1階の屋根まで浸水
	～0.5m

河川洪水

浸水予測は何で確認するの?

洪水ハザードマップは、神奈川県が作成した「浸水想定区域図」を市内の河川ごとにまとめたものです。お住まいの地域の浸水予測・浸水深のほか、知っておくべき防災情報が記載されています(マップは小田原市ホームページで公開中)。

酒匂川が氾濫した場合のわたしの地区の浸水予測は

浸水予測値を記入してください

m

ない

浸水予測が0.5m(50cm)以上の場合

浸水予測が0.5m(50cm)未満の場合

自宅の2階以上の安全な場所に避難します。

風水害避難場所
避難場所を記入してください

に避難します。

危険を感じたら、避難勧告が発令されなくても、自主的に避難しましょう。

自宅待機
浸水予測が0.5m(50cm)未満の地区は、原則、自宅待機となります。

危険箇所がない方

小さな川や用水路などの氾濫時には、慌てず2階などへ上がりましょう。
危険を感じたら、避難勧告が発令されなくても、自主的に避難しましょう。